

# 2021年度 事業報告書 特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ

## 1. 個人旅行・インバウンド観光を促進する地域ブランディング事業

～「重点道の駅」「宿泊施設」等の連携強化によるサービス向上～

(高速道路利用・観光・地域連携推進プラン 2019年度・2020年度・2021年度事業)

団体旅行から個人旅行への旅行形態の移行、インバウンド観光の市場規模拡大を念頭に、集客拠点である「しまなみ海道」沿線の「重点道の駅」等での情報発信、休憩機能を強化する取り組みを推進する事業の最終年。サイクリストへ安全で快適に周遊できる環境、サービスのネットワーク化を精査し、マニュアルやしゅくみとして構築した。コロナ禍で苦戦が続く宿泊事業者が多い中、アフターコロナを見据え、インバウンドを含め、しまなみ海道サイクリング愛好者の起終点としての宿泊者増加を見込み、今治市まちなかの宿泊施設との連携を強化し、滞在者の満足度を向上する施設づくり、コンテンツづくりを進めた。

### ① サイクリングマップ「島走マップ」シリーズの英語化

#### しまなみ版(英語)の発行

アウトドアへの関心、里山保全の観点等の視点を加味した情報構築を進めた。ユーザーが最も多いマップとなること、アフターコロナを見据えたインバウンド観光支援ツールとすることを加味し、翻訳前に日本人・外国人両者の目線で評価をいただきながら、内容構築した。

#### 《調査・撮影・取材》



#### 聞き取りした意見

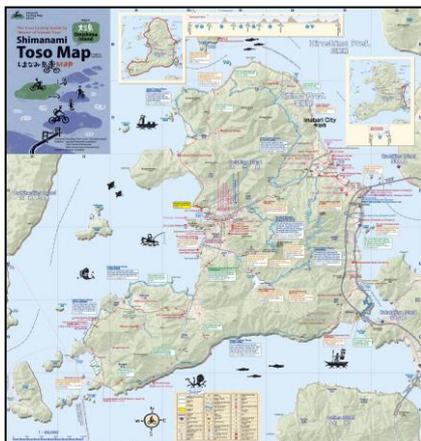
- ・立寄ポイント: 「英語での説明案内が不足」
- ・休憩ポイント: 「サイクルオアシスが便利」  
「英語で予約できる宿泊情報が欲しい」  
「フリーWiFiが使えるポイントが不明」
- ・走行環境: 「現在地が把握できることが大切」  
「距離がはっきりわかる地図が必要」  
「高低差が分かるプロフィールマップが役に立つ」  
「緊急時のバックアップ施設が知りたい」
- ・その他: 「しまなみ海道の見所を教えてください」  
「おすすめのルートと飲食店を教えてください」  
「飲食店で英語のメニューは用意されているか？」



#### 《編集・デザイン・データ作成地図作成》

しまなみ海道の周辺ルートである「とびしま海道」「たかなわ海道」などの英語化を先行して進めてきた経験値をいかし、作業の効率化を図りながら、英語への翻訳、デザインワークを行い、印刷・発行した。

#### 成果物



## ② サイクルクルージングのブランド化

サイクリングと船を組合せたツアーを定期催行した。2020 年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、使用できる港、上陸できる島が限定的となる中、使用しやすい船を活用してのモニタリングを実施した。アウトドアへの関心が高まる中、島民参画で提案できる体験コンテンツ、ガイド機能等の学習を盛り込むなど、コンテンツ造成や人材育成視点を大切にしながらのモニタリングが展開できた。

### ■アイランドホッピングツアー2021

#### ●第5回瀬戸内スローサイクリング

ターゲットに応じた効果的なプランニングを実施するため、女性限定のモニターツアーを催行した。しまなみ海道の王道ルートと言える「来島海峡大橋」と「愛媛県側の島」をサイクリング。帰路に船を活用し、船と自転車の旅のメリットを掘り起こした。

日 時：2021年10月31日（日）参加者：15名

運航路：＜復路＞ 今治港 8:00 発 → 岩城港 9:00 着

岩城港発 12:20 発 → 北浦港 12:50 着

＜復路＞ 瀬戸田港 16:00 発 → 今治港 17:00 着



#### ●第6回瀬戸内スローサイクリング

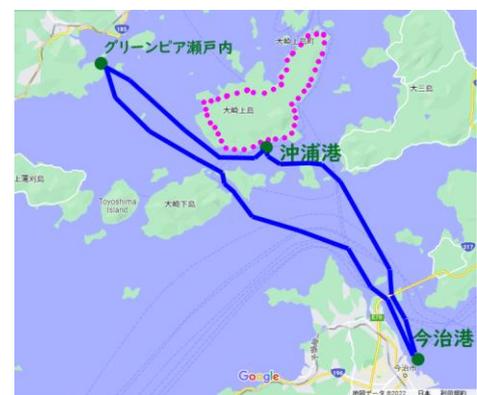
県内外でサイクリング愛好者へのルート提案等、地域間競争が進む中、船を取り入れたプランニングは地域独自性がある。SNS での配信等、参加者にツアー内容の情報発信等を求めながら、最後となるモニターツアーを催行した。

日 時：2022年3月21日（日）参加者：29名

運航路：＜復路＞ 今治港 8:20 発 → 沖浦港 9:20 着

沖浦港発 13:00 発 → グリンピア港 13:30 着

＜復路＞ グリンピア港 16:00 発 → 今治港 17:00 着



### (参加者の声/船上での様子)

- ・島々に囲まれた海原を滑るように進む船に、特別感を抱くことができた。
- ・客席から海面がとても近い。高揚した気分に含まれるクルージング体験だった。
- ・橋のつながっていない島々へダイレクトに行ける。とても便利で快適だった。
- ・船内や甲板のガイドで島の名前や風景の説明を理解。知識欲が満たされた。
- ・航行中、交流の時間を持つことができ有意義に過ごすことができた。
- ・天候次第では欠航になるほど波風が激しい海域と聞き驚いた。
- ・自転車の積み下ろしと格納に時間がかかる。
- ・スロープで2階に上げるのが大変。



### ■パンフレットの製作

サイクリングとクルージング商品の販促ツールとなるパンフレットを製作した。サイクリング行程の片道に船を使う移動手段、体験クルージング目的など、サイクリング愛好者の多様なニーズに活用できるプラン提示を行った。



### ③ 接客改善マニュアルの作成

メンテナンス補助マニュアル（2019年製作）、ルート情報説明マニュアル（2020年製作）を活用し、「道の駅」や「定期船運行会社」等の異業種間の交流に資する研修会を開催。地域内でのおもてなしの向上を図った。



### ④ 市内回遊の誘引「自転車タクシー」の商品化

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、インバウンド旅行者が見込めない中、方向性を転換しての「しなみ輪タク」運行となった。また住民対象の試乗会については、開催が難しい1年となった。アフターコロナを見据え、自転車タクシー運行のマニュアルと人材育成等に取り組んだ。



### ⑤ 地産食材提供の「サイクリングエコツアー」の商品化

耕作放棄地の活用した「シクロ農園」を拠点に、農産物直売・加工・「食」の交流会の商品化へ向けたモニタリングを行った。

「アイランドホッピングツアー2021」参加者をモニターとして迎え、体験コンテンツやサイクリング時のピクニックランチへ評価いただいた。



#### 蜜蝋を使ったキャンドルづくり

「シクロ農園」の養蜂の旅行商品化。自然由来の蜜蝋の説明を聞き、キャンドルづくりに挑戦。色々な太さのキャンドルに仕上がりに、オンリーワンのお土産として高評価。

#### レモンをテーマに地域回遊

瀬戸内レモンのブランド力に着目。生産者とダイレクトにつながる飲食の提供、収穫地を巡りながらのサイクリング等、現地ならではのガイダンス、体験コンテンツを造成。エコツアー化を模索した。



#### 漁家との連携によるエコツアー

瀬戸内を体感できるコンテンツとして、水産業者との連携を模索。「捕る漁業」から「育てる・見せる漁業」へチャレンジする水産業者と模索する「牡蠣の水揚げ見学」と「牡蠣打ち体験」を実施した。

サイクリストのモニタリングに合わせ、住民参加型の意見交換を実施した。

アウトドア専門家やインバウンド対応の旅行会社等を対象としたファムトリップを行った。

寄せられた意見を踏まえ、サイクルオアシス総合拠点「はまかぜサイクルオアシス総合拠点 なみトみなと」を介し、自転車旅行者への飲食、土産等での地産素材の活用につなぐ商品造成を進め、ホームページの構築により、発信と販売（インターネット販売）の機能を整備した。

## 2. 自転車キャンプによる里山・里海活用事業～耕作放棄地の再生利用による環境保全活動～

(JT SDGs 貢献プロジェクト)

環境保全志向が高い来訪者増加を契機に、訴求力あるアウトドアコンテンツの商品化を進めた。観光農園（耕作放棄地の活用、以下「シクロ農園」）を誘客拠点化して、サイクリングとキャンプの旅の支援プログラムを展開。中長期滞在者の集客を目指す施設（宿泊機能「なみトみなと」）においては、しまなみ海道沿線への回遊を促進するサービス提供体制を整えた。

### (1) 「シクロ農園」環境整備

#### ■観光利用の体系化

農山漁村保全のモデル地区として活用することについて、園地所有者を含む周辺園地所有者と協議。今治市農業委員会への手続きを経て、無償貸与した「シクロ農園」他の基盤整備に着手した。

#### ① サイクリングルート検証



#### ②遊び場の整備



#### ③農地用トイレ設置と車両搬入が可能な道の拡張



農地用トイレ「アグリレット」を設置（専門業者による施工）。トイレの悩みの解消は地域住民と旅行者の気軽な立ち寄りを促した。汚物が微生物と酵素剤の投与により分解され、「液肥」となるしくみは、周辺園地所有者の話題となった。

### (2) 「なみトみなと」機能強化

#### ① 人材育成（スタッフ育成）とガイドランス資料の準備

域内のキャンプ場提案、組み合わせることができるアウトドアプログラム、農園やサイクリングルート沿線の食の提供等のプログラムをコーディネートできる人材育成に取り組んだ。現地調査を通して、多様なステークホルダーとの連携を整え、コンサルテーション機能構築（旅を支援するスキル/キャンプ講座の実施）体制を整えた。

#### ② 中長期滞在者（ワーケーション、移住希望者を含む）誘客

シクロ農園への立ち寄り、自転車キャンプ時の食事や体験を通して、農地の利活用を進めると共に、保全に直結するプログラム構築、加工商品の販促活動を展開した。県外の移住希望者等を含めた中長期滞在者には、収穫に留まらない農作業、収穫物の加工へ参加等をプログラム化し、地域保全のマンパワー確保のしくみ構築を目指した。

### (3) モニタリングとオペレーション体制構築

キャンプ道具と自転車をレンタルし、しまなみ海道を自転車キャンプするユーザーを支援するモニタリングを行なった。キャンプ道具を積載してのサイクリング、キャンプノウハウ、旅程（季節・行程など）による注意点などを検証した。



### 3. サイクリスト向け情報発信コンテンツ運営管理委託業務

フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」やホームページ「しまなみ自転車旅の宿」の運営を通じて、瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地として広く国内外にアピールした。

#### ① フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」の運営

フェイスブックページ「しまなみサイクリングパラダイス」はしまなみ海道周辺の情報発信、誘客ツールとして、ファンを獲得しつつ運営。このエリアは沿線のレンタサイクル設備等の充実、観光コンテンツの造成等の取組みにより、多様なメディアで紹介されることが増えており、SNSでの情報入手への相乗的な効果を感じた。コロナ禍で不要不急の外出を控える事態が長引くなか、おもてなしやマナー向上を目指したワークショップ開催等、官民一体となったサイクルツーリズムを推進しており、こうした地域一丸となった取組みについて、サイクリングの基本的情報に加え、記事を加工、配信した。

##### (1)カバー写真の更新

毎月1回、季節感のあるしまなみ海道エリアの写真を更新した。「しまなみ海道」や「ゆめしま海道」の橋梁美の印象が残るよう、時間ごとに表情を変える「橋」の風景を厳選した。

8月/いいね:68件 リーチ:709▶



##### (2)取材及び記事の投稿

3日に1回の頻度で記事を投稿した。また月に1回、英文で基本情報を発信した。10月からは月1回動画映像も配信した。持続可能な自転車旅行者誘客に向け、地域の多様な主体の取り組みがあり、積極的に配信した。なお、コロナ禍で積極的な誘客を控える時期は、国、基礎自治体の方針に沿った記事の作成と配信に努めた。

#### 最もインプレッションが高かった記事 (2021年11月7日投稿)

リーチ数: 3,274 エンゲージメント: 943

**しまなみサイクリングパラダイス**  
作成者: Aimi Yoshimura 2021年11月7日

【サイクリングしまなみ2022】  
瀬戸内しまなみ海道 国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2022」が開催されます。  
開催日時: 2022年10月30日(日) (エントリー開始は2022年春予定)  
しまなみ海道サイクリングを楽しもうと全国からサイクリストが集うファンライド。前回の2020年は開催中止となりましたが、来年は多くのサイクリストにしまなみ海道の魅力を実感していただきたいですね。30~140kmのさまざまなコースが設けられ選択でき、レースではない楽しさ重視のサイクリングイベントです。  
<https://cycling-shimanami.jp/>



フォロワー数は3,317名(2022年2月28日現在)となった。前年比で22名増加、性別の割合に著しい変化はない。フォトジェニックスポットの動画配信を開始、読者の興味を引く記事、サイクリングルートの情報等の基本的な記事を中心に、歴史や文化・食等につまわるコンテンツを織り交ぜた発信により、ファンの定着を図ることができた。また、地域活動等の取材、情報加工により、多彩な要素を盛り込んだ記事は、しまなみエリアの魅力のアピール力となった。今後も地域資源の魅力を再発見できる記事により、新たなファンの獲得も目指したい。

#### ②ホームページ「しまなみ自転車旅の宿」の運営

自転車の安全な保管やメンテナンススペースの有無、外国語対応の可否など、サイクリストフレンドリーな宿泊施設情報を提供し、瀬戸内しまなみ海道へのサイクリストの誘客を図った。

#### 4. 宿泊施設向けサイクリスト受入対応研修業務

しまなみ地域の宿泊事業者（愛媛県側）を対象に、自転車の安全・安心に資するサービスや、滞在をより有意義にする情報等に関する研修会を開催した。アフターコロナを見据え、宿泊施設において保有していきたいサイクリストへの情報、受入時のサービス等について共有し、受入対応力及び情報提供力の底上げを図った。

##### (1) 研修用資料制作

自転車旅行者へのサービス理解、行程や立ち寄りポイントの提案につながる情報を可視化した教本制作を行った。

企画: 基本構成

ルートの可視化によるエリアの理解

経験値や滞在日程等に応じた行程の理解

走行環境、受入環境等のサービス理解



##### (2) 研修会の開催

サイクリング旅行者への対応力向上講座

「地域一丸となった受入体制構築に向けて！」

～しまなみ海道ならではのおもてなしとは?～」

日時 令和4年1月18日（火）13:00～15:00

方法 オンライン開催

（運営：愛媛県東予地方局今治支局 4階大会議室）

参加 25名程度（宿泊施設12施設・行政関係者等）



日本を代表するサイクリングルートとして、ビギナーからエキスパートまで、多様なサイクリング経験者が来訪している。安全に安心してサイクリングできるよう、ニーズに応じて官民によるサービス創出、改善が行われており、宿泊施設が保有していきたい情報も変化が目まぐるしい。本研修では、しまなみ海道サイクリング時に支援や助言が必要となる具体的な事例を通して、自転車旅行者受入の留意点、現場での対応力やおもてなしのポイントなどを学んだ。



#### 5. ランニングバイクによる啓発事業

「なみかた海の交流センター」において開催を予定していた「自転車ヒロバ」、「しまなみランニングバイク選手権」は新型コロナ感染拡大を受け、中止した。

#### 6. なみかた海の交流センター管理運営事業（今治市委託事業/3か年事業）

展示機能、飲食提供に加え、各種アクティビティプログラム提供、宿泊機能を加味した運営をスタートし、集客力を高めてきたところである。今期は新型コロナウイルス感染拡大を受け、2020年4月19日～5月11日の期間で臨時休館し、その後も来訪者の水準は戻っていない。ワーケーションも含め、中長期滞在者の利用を見込み、展望を再構築すると共に、来訪者と住民との接点、地域資源の活用に注力した運営を行った。

## 7. 地域限定旅行業

### ① 募集型旅行

旅行者のニーズに合わせ、着地型旅行商品を造成し、提供した。地域資源の活用、住民との交流を進めた。

実績：第8回シクロ女子旅(秋) ・ 第10回タンデム自転車祭り

### ② 受注型旅行・ガイド派遣

個人や団体、旅行会社等からの依頼に基づき、オーダーメイド型旅行企画及びガイド派遣をした。

実績：一般旅行者対象のオーダーメイドツアー

修学旅行へのガイド派遣

ファミツアーへのガイド派遣

### ③ 自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」の受付事務。

○四国旅客鉄道株式会社 ワーブ松山

内容：JR 波止浜駅オペレーション

実績：松山便・西条便運行時の乗降支援を行った。

乗車人数：松山便 182名・西条便：22名

\*新型コロナウイルス感染拡大の影響により、運行中止あり。

## 8. 宿泊業「しまなみゲストハウス シクロの家」「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」

簡易宿所業は2020年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、厳しい運営となった。特に広島県に緊急事態宣言が発令され、レンタサイクルの休業があった時期の打撃は大きかった。大都市を中心とした行動制限により、国内旅行者の来訪は年間を通して鈍く、海外インバウンドの旅行者の宿泊は皆無であった。

一方、中心部には「スーパーホテル今治」、「JR クレメントイン今治」(JR 今治駅前)がオープン、またサイクリスト対応宿泊施設の登録制度「しまなみ自転車旅の宿」への参画施設の増加等、アフターコロナへの期待感を感じた。このような状況下、臨時のスタッフ体制をとりながら、初心者から上級者までのしまなみ海道サイクリングのサポートに特化した特徴、個性を全面的に打ち出す運営を目指した。「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」は2020年4月19日以降、休業を継続した。

### ① 運営にあたって

「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に則し、アルコール消毒や検温、マスクの着用、ソーシャルディスタンス確保等の対策を講じ、営業を継続した。

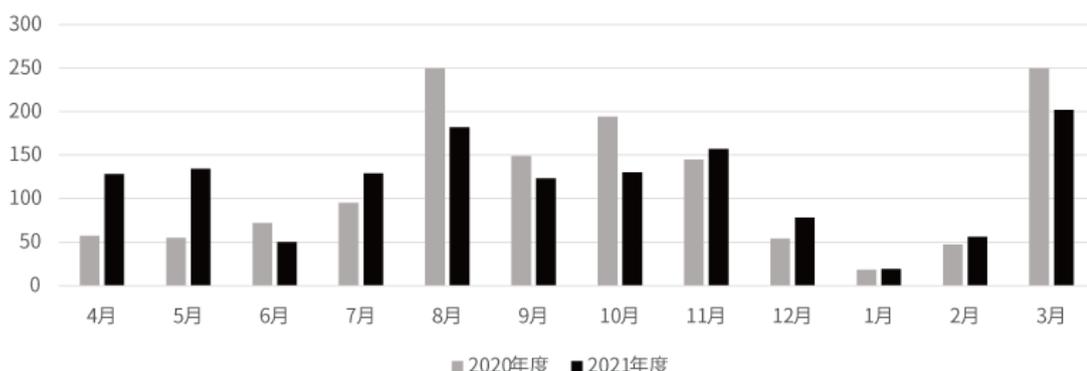
- ・共有スペース等：手指消毒用アルコール設置、タオルの共有中止

定期的な換気、宿泊者同士の会話の際にはマスク着用とソーシャルディスタンスの確保の依頼

- ・チェックイン時：非接触型の体温計での検温、手洗いの実施、発熱や咳等の症状がないかどうかの確認
- ・受付業務簡素化：ソーシャルディスタンスを確保した対応(案内シートや周辺情報地図等の改良)
- ・スタッフは臨時対応体制

### ② 「シクロの家」宿泊・立ち寄り利用実績

年間宿泊者数は前年度と同水準となった。



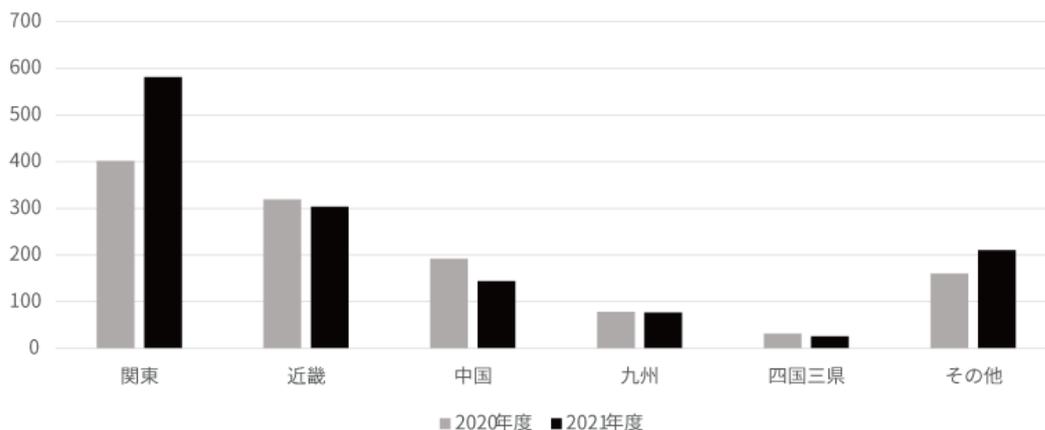
4,5月及び10月～12月はサイクリング旅行者の宿泊が一定程度回復した。また、中国・四国地方の梅雨明けが早く(7月13日頃/前年よりも18日早い)、サイクリング旅行者の動きがあったことは集客につながった。感染拡大傾向にあった8月、1月～2月は都市部を中心に旅行控えが顕著で、近隣県から来訪者となった。

### ③ 宿泊者の属性と傾向

宿泊者の属性傾向は、前年度と概ね変わっていない。近隣のサイクリスト、リピーターの来訪に支えられ、遠方のサイクリスト、一般旅行者も徐々に来訪が回復している。地域により、移動制限の状況が影響している感がある。

都市部から地方への移住を考えて、愛媛県や今治、しまなみ海道エリアを訪れる方の宿泊が多かった印象で、コロナ禍で東京や大阪といった大都市に人が集まる動きが緩やかになり、東京の人口が初の転出超過となったことなど、地方移住への関心度も上がっているのかもしれない。

#### 《出発地》

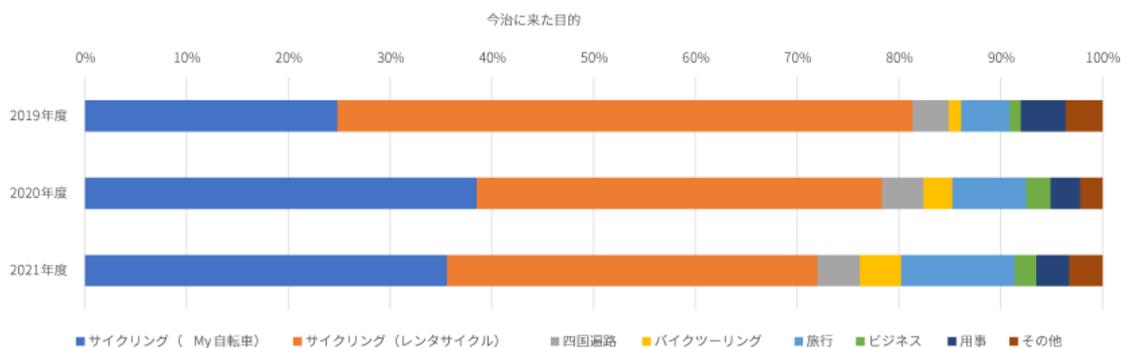


#### 《その他属性》

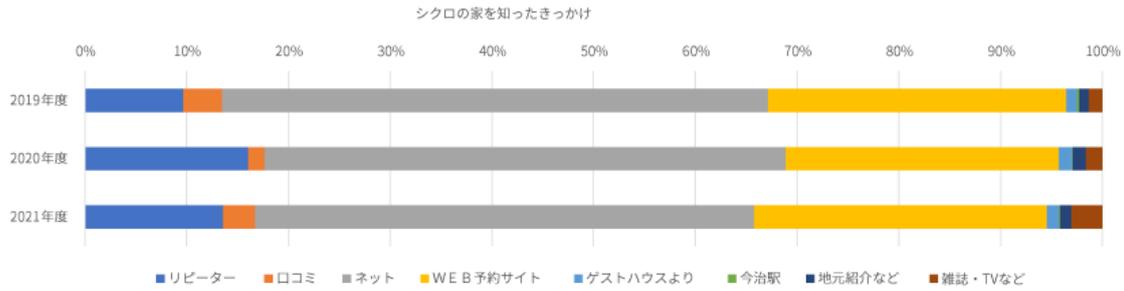
	宿泊者総数	男性	女性	リピーター率
2019年度	3682	57%	43%	10%
2020年度	1376	66%	34%	16%
2021年度	1388	62%	38%	14%

	サイクリング旅行者数	My自転車	レンタサイクル	しまなみ海道リピーター率
2019年度	3001	31%	69%	7%
2020年度	1078	49%	51%	16%
2021年度	991	49%	51%	20%

#### 《来訪目的》



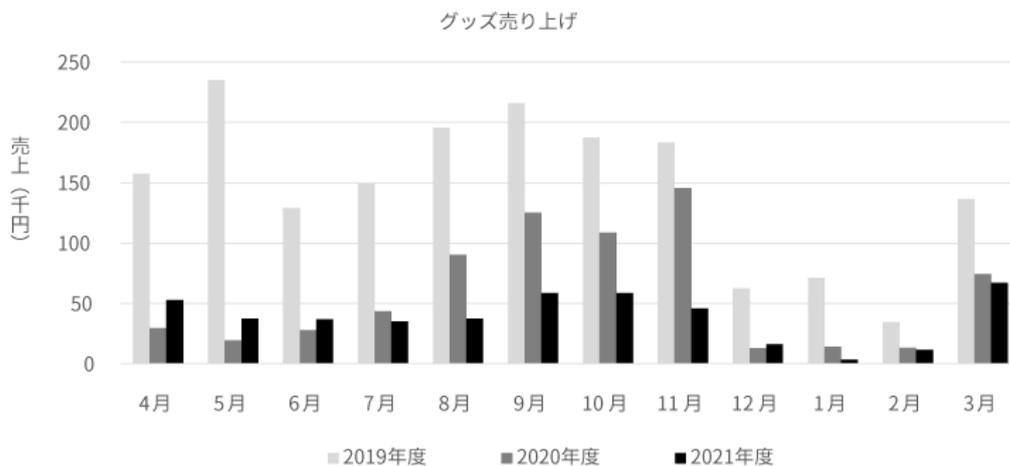
## 《当施設を知ったきっかけ》



## 9. 物品販

書籍を中心に、アパレル、グッズ等の土産の販売は、地域内の集客施設（道の駅等）は昨年度に引き続き、販売が回復していない。対面販売も宿泊施設の集客の落ち込みに比例し、低迷。また今期はインターネットでの書籍販売が低迷し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前年比30%減となった2019年をさらに下まわった。アフターコロナを見据え、インバウンド回復を念頭に、マップの英語化等を進めた。また、しまなみ島走ブックの改訂作業などを行なった。今後の販売回復に期待したい。

### 《シクロの家：グッズ売上と総売上比率》



## その他：ホームページのリニューアル

2022年1月「シクロの家」ホームページをリニューアルした。スマートフォンやタブレット端末からの閲覧が増加傾向にあることから、スマートフォンでも閲覧しやすいモバイルユーザビリティのグレードをあげた。施設の特徴やコンセプト、料金などが一目で分かるようなシンプルなホームページを作成し、SEO対策も強化、必要な方の的確な情報が適切に届くような設計を目指した。なお、当団体のホームページ、「Cyclo cafe & book Hostel なみとみなど」のホームページも順次、リニューアルに取り組みたい。



## 10. 自転車まちづくり

### ①調査研究、交流研修会

自転車による地域振興を進める機関等と意見交換をしたり、依頼に基づき講義したりした。

2021年10月	観光産業関係者や学習意欲のある一般市民、松山大学学生を対象にした「ふるさとふれあい塾」での講義。しまなみ海道の住民参画型で構築した自転車の受入基盤を中心に学びを深めた。
	福島県・栃木県を含めて魅力創出に取り組むFIT・阿武隈地域での自転車による地域の魅力創出をテーマにした講演会での基調講演を担当。自転車を活用した地域活性化への提案。

## ②ヒアリング、視察受入

自転車を活用した地域活性化等のヒアリング協力をした。依頼に基づき講義、施設見学を受け入れた。

2021年7月	ナショナルサイクルルートに指定されたしまなみ海道の現場視察。受入態勢整備の検討を行う県庁内の学習の一環で、現地ツアーを催行しながらの観光推進体制づくりの意見交換。
2021年11月	地域おこし協力隊等がサイクリングのメッカを楽しむ実地研修。意見交換とオーダーメイドツアーを行い、しまなみの住民参画の様子を伝えた。 富裕層インバウンド誘客につなぐための調査。路地や農道など、しまなみの生活道を含む道を楽しむオーダーメイド型ツアーを行った。里山サイクリングの訴求力を共有した。 宮城県において、サイクルツーリズムによる地域活性化を推進するにあたり、しまなみの現場視察への応対。官民一体で進める受入環境整備と役割分担を共有した。
2021年12月	建築の視点からまちづくりを研究する内容での視察応対。住民参画型で整備され、担い手のすそ野が拡大するサイクルオアシスの機能を中心に話題提供。

## ③審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

今治ブランド戦略会議/ 今治市営業戦略課	多様な主体の共創による今治市ブランドの構築に向けた計画づくり等に参画。オンライン。
しまなみ海道周遊観光ワークショップ事前会議/本州四国連絡高速道路株式会社	来島海峡をいかした観光コンテンツづくり等、商品造成とターゲット層を意識したプロモーション等による集客の検討会議への参加。オンライン。
「市民が真ん中懇談会」/今治市	市政への取り組みや地域の諸課題について意見を交換する場への参加。市政運営について意見を述べ、午後は市長と巡る市内魅力発見ツアーに参加。
しまなみ地域サイクリストマナー向上推進協議会/愛媛県東予地方局今治支局総務県民室	しまなみ地域を訪れるサイクリストの交通ルールの順守やマナーアップへの意識向上対策に関して、取組の基本事項を検討する協議会への参加。

## 11. 会議に関する事項について

### (1) 総会

#### ①第12回通常総会

日時：2021年5月6日（木）

議題：○2020年度事業報告・収支決算報告の件

○定款変更の件

○2021年度事業計画・収支予算の報告の件

### (2) 理事会

第1回 日時：2021年5月6日（木）

議題：○2021年度事業計画・活動予算の件

○有給役員の件

○スタッフ給与の件

○総会に付すべき事項の件

第2回 日時：2021年7月28日（水）

議題：○2021年度事業の進捗確認の件

キャンプモニタリング経過報告

マップ等、情報発信媒体等の経過報告

ツアー等の企画、商品開発の企画 の件

第3回 日時：2021年9月6日（月）

議題：○新型コロナウイルス感染防止対策の件

○情報発信コンテンツ運営管理業務の件

第4回 日時：2021年12月27日（月）

議題：○情報発信コンテンツ運営管理業務の件

○2021年度事業の進捗確認の件

第5回 日時：2022年2月22日（火）

議題：○2022年度事業計画の